

1 自己評価

I 評価結果 (別紙参照)
II 分析・改善方策
① 授業改善、授業が自分事となる学びの実現
<ul style="list-style-type: none"> <li>学校改善アンケートで「授業や補習に積極的に取り組んでいる」と回答した生徒は全体の88%、「授業は分かりやすい」と回答した生徒は全体の85%と高い割合を占めた。</li> <li>授業形態や教材等の工夫改善により、学びの質を向上させる取組を進めているが、家庭学習時間が各年次で十分確保できておらず、授業と自主的な学びの連動が課題である。</li> <li>各自の持つICT端末を、情報整理、各科目学習課題の把握と解決、協働的な学習など授業内外の学習活動の場面で効果的に活用できており、引き続き活用実践を進めたい。</li> </ul>
② 生徒の自走、自立した社会の構成者となるためのより良くなるようとする力の育成
<ul style="list-style-type: none"> <li>オープンスクールや瀬戸高祭などの学校行事では、生徒が主体となって協力しながら内容充実のために尽力した。「部活動や特別活動に積極的に参加している」と回答した生徒は全体の88% (2年次生は97%) と高い割合を占めている。この意識を維持したい。</li> <li>総合的な探究の時間では、社会とのつながりを踏まえて興味深く探究できるテーマを設定し、計画から実践まで積極的に進められた。探究学習の年度間のつながりや進路実現との関連に留意するとともに、探究的な学び方を教科学習にも生かすよう努めたい。</li> </ul>
③ 健全で良好な人間関係の構築、実践的なコミュニケーション能力の育成
<ul style="list-style-type: none"> <li>社会貢献活動や探究活動のフィールドワーク、外部講師との座談会、発表時の評価者との質疑応答などで、校外の協力者と直に接する機会が多く、経験を積むごとに生徒が自信をつけてきている。実践的なコミュニケーションの場を今後も作り出し続けたい。</li> <li>クラス内や活動グループ内で、互いを認め尊重し合う関係を築くことができている。今後も友人や家族、教員等との対話を大切にするよう呼び掛けていきたい。</li> </ul>
④ 地域連携、地域貢献を行う力と社会変革の担い手としてイノベーションを起こし、エージェンシーを発揮する力の育成
<ul style="list-style-type: none"> <li>社会貢献活動や探究活動で、様々な協力者の温かい支援に触れ、地域の良さや問題点に気づき、関心を持って社会参画しようとする意識が育まれている。</li> <li>マイプロジェクトアワードやSTEAMフェスタ等の外部発表に参加したり、小中学生との交流イベントでアドバイスをしたりして、自分の経験を振り返り、責任を持って発言する経験を積むことができている。</li> </ul>

2 学校関係者評価委員名

三浦 隆志 (元岡山県立林野高等学校長)	金谷 文則 (本校同窓会長)
小林 健 (元和気町立和気中学校長)	関藤 定生 (本校PTA会長)
吉川 幸 (岡山大学副理事〈高大接続・共創教育・SDGs教育担当〉)	

3 学校関係者評価

<ul style="list-style-type: none"> <li>探究活動が独創的で魅力の一つとしてとても良い。探究と教科学習とのつながりや、グローバルな視点などを高めていくと、更なる強みとなるのではないかと。仕事を知り、生き方を考え、大学や学部などを選択させるような教育へ発展させてもらいたい。</li> <li>生徒にとって居心地のいい普通科であることが魅力となっている。ゆったりと落ち着いて勉強させてあげたいと思っている親御さんは多く、生徒一人一人をよく見ていることが伝わり安心できる。</li> <li>集団生活や人間関係づくりの苦手な若者が多い昨今、集団(学級)づくりや部活動にも今一度力を入れてもらいたい。</li> <li>全般的に若者の教養不足を感じる。情報活用スキル・モラルの向上とともに、自ら習得を目指し、新たなものを生み出そうとする意欲も培う必要がある。</li> <li>新聞等で瀬戸高生の活躍を目にすることがあって嬉しい。広報活動は大切で、どんどん地域に出させてそれを発信してもらいたい。これまでの取組が中学生にも伝わり、瀬戸高への進学希望者が定員を上回ったことは喜ばしいことである。</li> </ul>
--

4 来年度の重点取組 (学校評価を踏まえた今後の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> <li>新学習指導要領の着実な実施と、主体的・対話的で深い学びの実現につながる授業改善をとおした学力の向上 (知識構成型ジグソー法等の授業研究の地域連携推進)</li> <li>一人一台端末の効果的な活用と、実践の強化・拡大の取組 (学びの個別最適化)</li> <li>探究学習など生徒の主体的な取組を軸とした魅力ある学校づくりの取組 (生徒募集)</li> </ul>
---

